

洛友会報

京都大学工学部電気系教室内
洛友会
京都市左京区田中大堰町49
075-701-3164

10年目の初期故障

東京支部長 武藤良介（昭28卒）

平成6年度を迎えました。この3月に京大電気系3学科卒業され、洛友会の会員になられた新進気鋭の皆様に対し、東京支部を代表して心から歓迎の意を表します。

さて、東京支部の活動状況につきましては、昨年度の会報に重本前支部長が詳しく述べられていましたので、私の国鉄時代の思い出の一駒を述べさせていただきます。

日本の新幹線が走り出してから

です。

このように立派に成長した新幹線も、開業当初はいろいろなトラブルが発生し、列車のおくれや運休によってお客様に多大のご迷惑をかけました。世界で初めて

博多まで延長されたのが昭和50年、そして57年には、東北・上越新幹線が開業して、今や新幹線の延長キロは約2千キロに達しています。

組み、開業の2年前からモデル線

として安定輸送の重責を果しました。

東海道新幹線はその後順調な発展を続け、利用客の増加に対応して、列車の増発や編成増（12両→16両）といった輸送力増強工事に追われていたのですが、開業後10周年を迎える頃から、再び故障が頻発するようになつてしまいましました。特に架線や信号装置などの電気設備に起因する事故が多く、それが原因で長時間にわたって列車を止めることとなつて、お客様をはじめ、各方面から厳しく叱咤を頂戴するはめとなりました。当

時、新幹線総局電気部長の職にあつた私は、事故の原因と対策について説明するため、国鉄記者クラブに何度も足を運んだのですが、

この度、平成6年3月31日をもつて定年退官致します。昭和28年3月電気工学科卒業、昭和33年3月（旧制）大学院修了し、同年4月助手に任命されて以来36年間

過なく定年退官の日を迎えること

において多角的な走行試験を重ね、かなりの自信をもつて営業運転を迎えたのですが、現実は厳しかったわけです。

しかし、これらの初期故障に対して、それぞれの原因究明に取組み、対策を講じた結果、急速に沈静化し、3年後には当初の5分の1にまで減つて、昭和45年の大阪万博博覧会には「動くパリオ」として安定輸送の重責を果しました。

つまり、新幹線の開業当初、高速運転に対する設備の弱点をつかれて初期故障に悩まされたのですが、10年目を迎えた今、保全上の弱点、高速、大量輸送の鉄道を支えるメンテナンス技術の未熟さがあらわってきたのであります。

これら一連の「10年目の初期故障」対策として、適時適切な点検と調整を行うとともに、弱点強化のための設備更新を推進し、再び安定輸送が確保されるようになります。

新しい技術の開発とその実用化に際して、初期故障との戦いは宿命のようです。新幹線は二度の初期故障に見舞われたわけではありません。この教訓を生かして、その後の山陽新幹線や東北・上越新幹線では、設備の強化改良を行なわれています。

今や4年後の長野冬季オリンピックを目指して、北陸新幹線の建設工事は最盛期を迎えようとしています。また、21世紀の鉄道に向けて開発中のリニア・モーターカーは、宮崎実験線における基礎試験から長距離走行の実用化試験に移行すべく山梨実験線の建設が進められています。あらゆる角度からのテストを十分に積み重ねて、初期故障の克服に万全を期すこと

を祈念しております。

（以上）

定年退官に際して

卯本重郎

（以上）

この度、平成6年3月31日をもつて定年退官致します。昭和28年の先輩・同僚教授各位、教職員各位、洛友会会員各位の暖かいご指導ご支援の賜物であり、心より感謝致しております。

この間、卒業研究以来ご指導賜った林重憲先生から、大学院入学



申し上げる次第であります。
また本会報に記載のよう、7
月中旬、教室主催で講演会を、次
いで研究室主催で退官パーティー
を開催して頂くことになりました。
皆様のご厚情に重ねて深く感謝致
しますとともに、洛友会会員各位
の益々のご活躍とご健勝を心から
祈念致す次第でございます。
なお私事でございますが、4月
以後は郷里に近い福山大学で私学
の教育、研究に従事させて頂く予
に從事して参りました。昭和42年
1月より電気工学科電気磁気学講
座を担当し、学部の電磁気学第一、
同第二、太学院の電磁気学特論、
電気数学特論などの講義を担当致
しますとともに、電磁気学、電磁
流体力学、電気回路などにおける
諸基礎方程式の定常並びに比定常
数値解析法の研究開発と、同法に
による電力系統の進行波異常現象、
小形直流機の過渡磁界と性能向上、
高圧交流回転機コロナシールド部
の過渡電界と機能向上、電磁流体
(MHD)発電機とそれを含む直流
電力発生・直交変換・伝送システ
ムの定常及び過渡動作特性などに
関する解析的研究と研究指導を行
つて参りました。これらの研究に
対し多大のご協力を頂いた研究室
の教官各位並びに200名を越える卒
業生各位に、定年退官に当たり改
めて心より感謝致し、厚くお礼を

申し上げる次第であります。
また本会報に記載のよう、7
月中旬、教室主催で講演会を、次
いで研究室主催で退官パーティー
を開催して頂くことになりました。

皆様のご厚情に重ねて深く感謝致
しますとともに、洛友会会員各位
の益々のご活躍とご健勝を心から
祈念致す次第でございます。

なお私事でございますが、4月
以後は郷里に近い福山大学で私学
の教育、研究に従事させて頂く予
に從事して参りました。昭和42年
1月より電気工学科電気磁気学講
座を担当し、学部の電磁気学第一、
同第二、太学院の電磁気学特論、
電気数学特論などの講義を担当致
しますとともに、電磁気学、電磁
流体力学、電気回路などにおける
諸基礎方程式の定常並びに比定常
数値解析法の研究開発と、同法に
による電力系統の進行波異常現象、
小形直流機の過渡磁界と性能向上、
高圧交流回転機コロナシールド部
の過渡電界と機能向上、電磁流体
(MHD)発電機とそれを含む直流
電力発生・直交変換・伝送システ
ムの定常及び過渡動作特性などに
関する解析的研究と研究指導を行
つて参りました。これらの研究に
対し多大のご協力を頂いた研究室
の教官各位並びに200名を越える卒
業生各位に、定年退官に当たり改
めて心より感謝致し、厚くお礼を

定であります。今後ともなお一層
のご支援、ご鞭撻を賜わりますよ
う宜しくお願い申し上げます。

定であります。今後ともなお一層
のご支援、ご鞭撻を賜わりますよ
う宜しくお願い申し上げます。

定年退官にあたつて

岡田 隆夫



卯本重郎教授 退官記念講演・記念パーティのご案内

一、退官記念講演（電気系教室主催）

日時 平成6年7月16日（土）午後4時より
場所 都ホテル 於3F コスモスホール
TEL（075）771-7211

二、記念パーティ（退官記念会主催）

日時 平成6年7月16日（土）午後5時30分より
場所 都ホテル 於2F 瑞穂の間

（問い合わせ先）

〒606 京都府京都市左京区吉田本町
京都大学工学部電気工学科教室
卯本重郎先生退官記念会幹事代表

石川義尚
乾尾哲司

TEL（075）753-1528-1-3
FAX（075）751-11576

卒業以来 林重憲先生、近藤文
治先生、木嶋昭先生、上之園親佐
先生のご指導で電気回路、自動制
御、電力工学の研究を行つてまい
りました。昭和47年4月から工不
ルギー変換機器講座を、その後電
機器講座ならびに超伝導工学講
座を担当し、電気機器工学と電力



工学に関する研究に従事致してま
いました。特に、超電導の電力
機器への応用として超電導発電機
の開発とその電力系統特性の研究
では、世界で初めて実電力系統に
おける発電実験を京都の蹴上発電
所で実施できる機会に恵まれたこ
とは、まさに好運であったと感
慨深いものがあります。これらの
研究に協力していただいた教官各
位と多くの卒業生諸君に、あらた
に厚く御礼申し上げます。

私はご存じますが、4月以降
は関西大学工学部教授として、い
ままでと同様に、電力工学の教育
と研究に従事する予定です。今後
ともなお一層のご支援とご鞭撻を
賜りますようお願い申し上げます。



岡田隆夫教授 退官記念講演・記念パーティのご案内

一、退官記念講演（電気系教室主催）

日時 平成6年6月4日(土)午後3時より
場所 からすま京都ホテル 2F 楽会場「双舞」
TEL(○七五)三七一〇一一
(地下鉄烏丸線四条駅下車すぐ)

二、記念パーティ（退官記念会主催）

日時 平成6年6月4日(土)午後5時より
場所 からすま京都ホテル 3F 楽会場「瑞雲」

（問い合わせ先）

〒606 京都市左京区吉田本町
京都大学工学部電気工学科教室
岡田隆夫先生退官記念会幹事代表

仁田 旦三
松木 純也
白井 康之

TEL(○七五)七五三一五二九四
FAX(○七五)七五一一五七六

教官の移動

次のような異動がありました。

卯本重郎

室（電気磁気学）教授を退官。

平成6年3月31日、電気工学教
室（昭和28年電気工学科卒）
（昭和30年電気工学科卒）

岡田 隆夫

平成6年3月31日、電気工学教
室（超電導工学）教授を退官。

（昭和30年電気工学科卒）

昭和41年卒 奥村 浩士

平成5年度電気系教室
卒業生の進学就職状況

電気工学教室主任
昭和30年卒 佐々木昭夫
電子工学教室主任

昭和31年卒 小倉 久直

当教室出身の学生の就職につき
ましては毎年のことではあります
が、洛友会会員・先輩諸兄にい
ろいろと御高配・御援助をいただ
いておりますこと教室主任として
厚く御礼申し上げますとともに、
今後とも宜しく御支援賜わります
ようお願い致します。

なお、これで総会出席通知に代えますので、ご出
席の方は5月16日までにご連絡をお願いします。
本会へはご家族同伴を歓迎しますので、多数お誘い
合せの上ご出席ください。

平成5年度の電気系教室卒業生
の進学ならびに就職の状況をお知
らせ申しあげます。

本年度の卒業生は別表にありま
すように、学部131名、大学院修士
課程86名です。このうち学部から
修士課程への進学は92名、就職は
39名であり、修士課程から博士課
程への進学は8名、就職は77名で
した。

本年度はご存知のように業界の
全般的な不況のため、企業から大
学への求人件数はかなり減少してい
るよう、他大学生の応募採用率
はかなり低いと聞いておりますが、
幸いにも当電気系教室への求人件
数は依然として多く、応募學生は100
パーセント採用していただきまし
た。また過去に話題となりました
金融業への就職は4名ありました。

一、年月日 平成6年5月29日(日)
一、場所 ホテル京阪京都

(JR京都駅八条口前アバンティ東側)

TEL 075-665-0321

関西支部総会 15..00
本部総会 16..00

懇親会 17..00
18..00

一、会費会員 四、〇〇〇円

同伴者 二、〇〇〇円

ただし平成6年3月卒業生は無料

会費は当日受付にてお支払いください。

なお、これで総会出席通知に代えますので、ご出
席の方は5月16日までにご連絡をお願いします。
本会へはご家族同伴を歓迎しますので、多数お誘い
合せの上ご出席ください。

平成6年度洛友会総会通知

進学・就職内定先			
種別	修士	学部	
卒業予定者数	86	131	
進 学	86 4 1 1 7 1	2	京大大学院修士課程(電気) 京大大学院修士課程(応用システム) 京大大学院修士課程(人間・環境) 東大大学院修士課程(電気) 京大大学院修士課程(電気) 京大大学院修士課程(情報)
官 公 庁	5	2	特許庁、防衛庁、郵政省、通産省、国際協力事業団
電 力・ガス	11	3	関西電力、中部電力、中国電力、四国電力、東京電力、大阪ガス
通 信	8	3	NTT、NTTデータ通信、KDD、DDI、NTTドコモ
電 気一 関 連	44	14	三菱、日立、松下電器、東芝、日電、シャープ、オムロン、ソニー、富士通、パイオニア、住友電工、日立電線、島津、日本電装、古河電工、沖、松下電工、三洋、村田、京セラ、日本モトローラ、キヤノン、半導体エネルギー研究所
鉄道・運輸	1	1	JR西日本、阪急電鉄
鉄鋼・金属	2	1	住友金属、新日鐵、神戸製鋼
機械・自動車	4	6	川崎重工、三菱重工、IHI、三菱自動車、トヨタ、マツダ、フジテック、シェルブルジエ
化 学	2	1	東レ、帝人
金融・商社	5		富士、三和、東京、伊藤忠
出 版	1		平凡社
帰 国	1		
そ の 他	2		自営、作家志望

仰ぎ見る 白鷺城には 青春の、
想ひを綴る 花吹雪舞ふ。

田辺さだ子

ほとほとと、夜更けて窓を叩く風、
お前は漂泊の旅人か、
冬の使徒の精靈か、
町角の私の家はお前の通り道、
或る時は嵐となつて
昼夜を分たず雨戸に体当りして
力任せに揺すぶる。
一寸の隙間からびゆーと
鞭を鳴らして、私の部屋を、
気忙しく駆け抜ける。
お前の最果の地は誰も知らない。
この世の果ての北海の氷山の裂け
目より、沈黙に厚く水つた死の湖
水の表より、積雪の頂きが天に届
く寂寥の山脈の谷間より、
お前の仲間は陸続と繰り出して来る。
尽きる事も無く高懸から雨戸から、
腰窓から、どつと雪崩れ込む。
私の家を荒野のように吹き荒れる。
私のイスラエル人のようにさまよい、
お前の酷烈な鞭は至る所より、
容赦なく私を打ち据える。
その凄じい喰りは、
私の弱氣と無智を打ちのめし、
春の怠慢と夏の無気力と秋の過失
を、思い知らせて呉れる。
その傷みは、くよくよした思案や、
人の列の後をついて行く中など

心に生きて 姿を若き。

左様なら講義の
師の君の 眼ざしは、
眼の底に淀むかび臭い忘却の沼に、
空虚の白い花を吹きとばして、
思も掛けぬ緊張と忍耐をもたらす。
お前の鞭は私を骨身に染る程叩いて、
私の眞実の眼を清々しく
開かせて呉れる。

(〒920 金沢市南新保町へ22)

ヨーロッパツアーセンター(I)

吉田芳正(昭24卒)

五 大 堂 の 舞 台 の 伽 蓮 に
写 経 の 筆 に 残 暑 故 し く。
(大覺寺)

鵜戸神宮の岩屋の奥の宮居にて、
神代偲はる 黒潮の音。

田辺輝雄(昭18卒)

鳴き交す 声も艶めき 嵐山に、
ゆりかもめの舞ふ 初春の空。

色退せし アルバム開けば
面影見えて 歳を忘れき。

雪吊は 玄人はだしよ 北陸に、
幾年住みしや 山茶花の宿。

太平洋は 白波の立つ。

救世観音の 誓の偈文や
華やぎて見ゆ 黒鳥の居て。

魂の永遠信じて 今日もまた、
一日送りし 澄み渡る空。

五大堂の 舞台の伽藍に
願ひ込めて、

「死ぬる迄現役」 志願に見込あり、
零細企業も 景気回復。

五大堂の 舞台の伽藍に
願ひ込めて、

ヨーロッパ10日間のツアーリーに先立つて、阪急交通社で説明会があつた。イギリスでのチケットが一番厳しく、旅行目的を開かれるので、齊藤寝具(Sight seeing)だけは覚えておいてほしい。齊藤寝具を、判かるまで何回も繰り返すと、きっと通じるからと言うことであつた。なるほどとしつかりと覚えていた。

ヨーロッパの空港に着いてヒースローという文字を目にする。天まで真直ぐという意味にとれる名前が気に入った。実はヨーロッパの空港に着いて始めて空港の名に触れたのである。ヒースローは錯覚でヒースローであることをずっと後に知った。

うどう問題のチェック点にやつて
きた。見ると我々の列の前約10米
に横一列約20個所2米間隔のゲー
トに：8910：の番号が付いてい
て、一人づつ検査官が立っている
列の先端にゲート割当係がいて、
エイティーン、ナインティーンと
空いたゲートに一人づつ振り當て
ている。娘の番になった。サーテ
ィーンの声に13番ゲートに向う。
妻の番になった。フォーティーン
の声より早く娘の後につく。14番
ゲートの検査官のオイデ、オイデ
の手振りにより無事14番ゲートへ
私に対しては、エイティーンと指
図するので、エイテと聞えるや否
や18番ゲートに向った。まだ先の
人が尋問中である。一寸おかしい
と思って割当係を振り向くとオイ
デ、オイデをする。そしてフィフ
ティーンと言う。15番ゲートでど
んな英語が出てくるか相手に神経
を集中する。「ダンタイサンカ」
きれいな日本語である。思わず
「イエス」と言う。イエスは何語
だつたかなと思う。そして検査官
はもう「よし」の態度。スカミた
いで思わず微笑む。後で妻にフォ
ーティーンがよく判かつたなあと嘗
めると、いや娘の後についていつ
たらオイデ、オイデをするから、
その人の所へ行つたら「ダンタイ
サンカ」「イエス」見事に英語を
使ってフリー・パスだと言う。

両替所の表示はフランス語である。フランス、ノルマンディーからの渡来人、貴族、知識人、商人街、手芸（曾^カ易^{トシ}）と英國の文化の密接さを思う。我國平安末期から家の頃か。我がリーダーは（卒業、阪急交通社3年目の若い女性）ロンドンへの迎えのバスが来るまで暫く解散。両替等用事を済ませたら集つてくださいと言う。用事はすべて娘と妻がしてくれるから、一人突つ立つて待つ。誰もいなくなる。周囲は空港職員か。仲間からはぐれていづらくなる。妻が遠くから手招きをしている。一人で何を突つ立つているのかと言う。10米程歩いて振り返ると、用のないもの立入禁止と書いてある。人の流れを一方通行にして逆流による混乱を防いでいる。後で気付いたことだが、我々を除けばぜられる。ふと見ると案内所に仲間からはぐれて所在の判からなくなつた人は、あなたの国名を大きな声で呼びなさい。それが解決の近道であると書いてある。妻以外誰もいない。実はまだ顔を知らない我等の仲間は周囲の長椅子に皆腰掛けていたのである。

ソンドンの更に西方はイギリスでもつとも古く、豪族国家の誕生した所。我国の飛鳥か。我々がバスは田園地帯を走る。ボプラによく似た広葉樹に気付く。牧場は緑が開けて綺麗である。途中羊の群れを見る。長い道中農家を見かけた記憶がない。鉄筋2階の長屋群が並んでいる。一軒づつ別々ではなく、隣り同志ずっと連なっている。列と列の間は開いているので狭苦しくない。連ねた方が北緯51度の寒さに耐え易いのか。やがて工場と思われるような一棟を通り過ぎて行く。30分も走った頃、我国代々の首相がロンドン訪問の際、泊る由緒あるホテルの横を通り過ぎ、ケンシントンロードの名前を聞く。ハイドパークを左に見て走り、左に回ればマーブル・アーチの前のカーネバーランド・ホテルに着く。

けてドアを明けて見る。あつた。
階段もエレベーターもあつた。一
めしめと階段で2階に達すると、
突然金髪の美女と相対すると見るや、180度
回転、更に首だけ180度回してこ
うチヤンスを得たことは幸いだと思
うらを見ている。こちらもピックリ
したが、その反応は日本の若い女
性と同じだなと思う。旅でこうい
う思いつつホールにたどり着く。
インド人、ロシア人、アラブ人
等々日本も国際化が進むと、この
ようになるのかなと思う。団体さ
んの強みはイギリスへ行つても、
ドイツへ行つても、イスイスへ行つ
ても、フランスへ行つても日本と
同じじと錯覚を起こすことである。
おまけにロンドン市街の案内、大
英博物館の案内等、日本のベテラン
ガイドさんが日本流儀に、日本
種々の発想を理解し愛し、種々の
的発想のもとに説明してくれる。
少し変形して説明すると世界の諸
文化と接触し、種々の視点から
の発想を理解し愛し、種々の
要素を総合してこそ、眞の文化を
得ると言う。ロゼッタ石の前で、
古代エジプト文字(象形文字、民
用文字)ギリシャ文字の解説の章
義の重大さを聞く。チームズ河の
対岸から見た天に至る縦の線が並
ぶ国会議事堂の建築美はすばらしい
ものである。フランス渡来のアーティ
ストの彫刻等の部屋か、ディレクター
の字が目に入る。突然金髪の美女と
相対すると見るや、180度回してこ
うチヤンスを得たことは幸いだと思
うらを見ている。こちらもピックリ
したが、その反応は日本の若い女
性と同じだなと思う。旅でこうい
う思いつつホールにたどり着く。

ジク建築は、イギリスにきて独自の発展をとげたと言う。禪寺屋根の端に反のある横の線の美と対比する。

ホテルに飾つてある絵に見入る。自然の配色にあらわれる淡い色調は非常に日本のである。イギリスにこんな絵があるとは今まで知らなかつた。家庭的な雰囲気の人物が画かれているところは、日本画ではみたことはないが。

翌日ヒースロー空港からフランクフルト空港へ向う。イギリス・ケント州カンタベリーあたり、牛の群の田園風景をぬけて、海岸線に出る。ベルギー上空を経て、やがてライン川が目にうつる。川の水は濁つて土色に見える。今ラインとその支流の分岐点あたり、窓側の席なので飛行機の位置が手にとるように判かる(後で判かつたことだが、この頃ローレライの上を飛んでいたのである)。フランスフルトへの着陸は最近か。2日前エストニア、スエーデン南部(ランド大学はこの当りであらうか)、デンマーク南部、オランダを経てイギリスに到着したことを思い出す。世界地図を見ているようである。自国の上空はすべて国際航空路か。国際化を思う。

リューゼルスハイムはライン下りの出発点。細い路地の両側に店舗がぎつしり並ぶ。ずっと奥の左

手レストランで昼食をとる。すぐ隣りのレストラン内広場で町の衆が集まつて楽器を引きながら賑やかに歌っている。中学時代、友人がギターを引きながら歌っていた、あの調子である。引きぎり込まれて感じた。外国では言葉が通じないのでトイレの確認にはいつも気を使う。ホテル、レストラン、列車等確かな所では必ず用をたしておこう。左の狭い所を下に降りていった所という感じの場所にある。

高速道路の休憩所ではトイレは無料と書いてあるが、実際は無料と書いてあるすぐ近くで印度人2人が小銭(30ペニヒ)をねだる。有料と同じである。古城の遺跡には有料トイレがある。路地の出口で出発の船を待つ間にアイスクリークを食べる。英語と同じような活字が目に入ったからである。ライ

ン下りは、ずっと大きな川の保津川下りと思えばよい。左手山の向うはザールに続くか。右手は山の中腹までブドー畑が見える。左手

山が川に迫る急斜面に古城が見えれる。中州に昔通行税を撤収した塔が見える。暫く船の上甲板で景色

を楽しむ。日本からきた他の団体が乗っていると思い込んでいる。宿泊地ハイデルベルグに向つていると

向を見て西北の方向へ川を下つていることに納得する。ローラライ

ーは正面の緑の山(岩)、その下の深い川筋を行く。ローラライ

の歌が流れてくる。歌に心が奪われる。陶酔の一時である。ライ

ンの東岸リューデスハイムで下船する。

今下つてきたラインの東岸をバ

スで逆戻りする。街路樹のある落

ちついた街の中にホテル、アルト、ハイデルベックがあつた。白で統

一されている室内が美しい。夜電

灯の光で見ると暖色に見える。デザインがすばらしい。

山腹に古城がある。歴代領主の像が壁面に見える。ローマ帝国400年頃はどんなであったであろうか。

古城内受付の小さな花瓶にさし込んである4、5種類の草花。少し違

うけど日本の花によく似ている

花、などと代る代る覗き込む。受け付の女性、にこやかに応対する。

小さな国際親善の一時。内庭で萩の一本を見つけた。こちらの萩は、

ささげた金髪が山盛りの感じ。ロンドン近郊では見かけなかつた針

葉樹も目にとまつた。

ハイデルベルクの大学(一三五〇)は日本の旧制高校のモデルと聞く。街の真中に50米四方のマル

トリアとの国境フュッセンまでを

が教会。民主主義発達の原点か。大学は町の建物の一角。町に融け込んでいる。石垣や生垣や門といつた。市民から隔離するものは何もない。学問は内なる歴史から生れるのであらうかと思う。ネツカ川橋上から見上げる古城はさすがに最古の趣を放つ。

我がバスの通り抜けてきた道路はローラライから南へ、ハイゼルベルクまで、ハイゼルベルクから

東へ、ローテンベルクまで、これを古城街道と言う。道路沿いに山側合計五つか六つの古城が山の中

腹に見える。400年頃ローマに侵入したゲルマン民族の移動経路に一致する。

ローテンベルクは領主を民衆の力で押え翻意させた歴史をもつ。

その一部始が男女二列四陣に組んだ踊りと領主と民衆の代表市長とのやりとりで表現される。最後

に領主との約束を取りつけた市長の演説と祝盃とで祭りが終り、その後祭りの列は街中を練り歩く。

頼んで縄張りの中へ入れてもらい計ができるだろうなどと思う。工場

がさばつて自然を圧倒している

という感じは全くない。高い所が草原。谷が深く落ち込んだ所が川。

牧場で羊かと見紛う小牛が群れている。もうミュンヘンに近い。今

朝ハイゼルベルクを出發してから何時間走つたことか。ミュンヘンの東北100kmはパリヤの森である。

ミュンヘンのホテルの名前がハンガーホテル、ホテル・ブダペストと言う名のホテルもある。ここ

はもう東欧に近い。川はすべて東

に流れ、ダニユーブに合流しオーストリア、スロバキヤ、ハンガリ

ー、クロアチア、セルビア北部、ルーマニア、ブルガリア国境ル

ーマニア、ウクライナを経て黒海にそそぐ。ビヤホールの大ホールで陽気な樂團とダンスの囲りで、

ナウ渡りやがて左(東)に針路をとりミュンヘンに向う。緑の草原を走る列車の架線、送電線の鉄塔がみん簡潔な作り方である。隅々まで行きとどいた安全系数の少い

コンパクトなドイツ流の設計が頭に浮かぶ。道路とその周辺のスマートな設計、山裾の整然たる刈上

等行政もかくありなんと思う。フランスに入つて始めて日本的な常

々たる送電線の鉄塔を見ることになる。田園風景の中にボッシュ、

ジーメンス、三菱、トヨタの名前が目に入る。田園風景の中にうまく収つてている。落ちついたよい設

計ができるだろうなどと思う。工場

がさばつて自然を圧倒している

という感じは全くない。高い所が草原。谷が深く落ち込んだ所が川。

牧場で羊かと見紛う小牛が群れている。もうミュンヘンに近い。今

朝ハイゼルベルクを出發してから何時間走つたことか。ミュンヘンの東北100kmはパリヤの森である。

ミュンヘンのホテルの名前がハンガーホテル、ホテル・ブダペスト

ー、クロアチア、セルビア北部、ルーマニア、ブルガリア国境ル

ーマニア、ウクライナを経て黒海にそそぐ。ビヤホールの大ホールで陽気な樂團とダンスの囲りで、

ナウ渡りやがて左(東)に針路をとりミュンヘンに向う。緑の草原を走る列車の架線、送電線の鉄塔がみん簡潔な作り方である。隅々まで行きとどいた安全系数の少い

コンパクトなドイツ流の設計が頭に浮かぶ。道路とその周辺のスマートな設計、山裾の整然たる刈上

等行政もかくありなんと思う。フランスに入つて始めて日本的な常

々たる送電線の鉄塔を見ることになる。田園風景の中にボッシュ、

ジーメンス、三菱、トヨタの名前が目に入る。田園風景の中にうまく収つてている。落ちついたよい設

計ができるだろうなどと思う。工場

がさばつて自然を圧倒している

という感じは全くない。高い所が草原。谷が深く落ち込んだ所が川。

牧場で羊かと見紛う小牛が群れている。もうミュンヘンに近い。今

朝ハイゼルベルクを出發してから何時間走つたことか。ミュンヘンの東北100kmはパリヤの森である。

ミュンヘンのホテルの名前がハンガーホテル、ホテル・ブダペスト

ー、クロアチア、セルビア北部、ルーマニア、ブルガリア国境ル

ーマニア、ウクライナを経て黒海にそそぐ。ビヤホールの大ホールで陽気な樂團とダンスの囲りで、

ナウ渡りやがて左(東)に針路をとりミュンヘンに向う。緑の草原を走る列車の架線、送電線の鉄塔がみん簡潔な作り方である。隅々まで行きとどいた安全系数の少い

コンパクトなドイツ流の設計が頭に浮かぶ。道路とその周辺のスマートな設計、山裾の整然たる刈上

等行政もかくありなんと思う。フランスに入つて始めて日本的な常

々たる送電線の鉄塔を見ることになる。田園風景の中にボッシュ、

ジーメンス、三菱、トヨタの名前が目に入る。田園風景の中にうまく収つてている。落ちついたよい設

計ができるだろうなどと思う。工場

がさばつて自然を圧倒している

という感じは全くない。高い所が草原。谷が深く落ち込んだ所が川。

牧場で羊かと見紛う小牛が群れている。もうミュンヘンに近い。今

朝ハイゼルベルクを出發してから何時間走つたことか。ミュンヘンの東北100kmはパリヤの森である。

ミュンヘンのホテルの名前がハンガーホテル、ホテル・ブダペスト

ー、クロアチア、セルビア北部、ルーマニア、ブルガリア国境ル

ーマニア、ウクライナを経て黒海にそそぐ。ビヤホールの大ホールで陽気な樂團とダンスの囲りで、

ナウ渡りやがて左(東)に針路をとりミュンヘンに向う。緑の草原を走る列車の架線、送電線の鉄塔がみん簡潔な作り方である。隅々まで行きとどいた安全系数の少い

コンパクトなドイツ流の設計が頭に浮かぶ。道路とその周辺のスマートな設計、山裾の整然たる刈上

等行政もかくありなんと思う。フランスに入つて始めて日本的な常

々たる送電線の鉄塔を見ることになる。田園風景の中にボッシュ、

ジーメンス、三菱、トヨタの名前が目に入る。田園風景の中にうまく収つてている。落ちついたよい設

計ができるだろうなどと思う。工場

がさばつて自然を圧倒している

という感じは全くない。高い所が草原。谷が深く落ち込んだ所が川。

牧場で羊かと見紛う小牛が群れている。もうミュンヘンに近い。今

朝ハイゼルベルクを出發してから何時間走つたことか。ミュンヘンの東北100kmはパリヤの森である。

ミュンヘンのホテルの名前がハンガーホテル、ホテル・ブダペスト

ー、クロアチア、セルビア北部、ルーマニア、ブルガリア国境ル

ーマニア、ウクライナを経て黒海にそそぐ。ビヤホールの大ホールで陽気な樂團とダンスの囲りで、

ナウ渡りやがて左(東)に針路をとりミュンヘンに向う。緑の草原を走る列車の架線、送電線の鉄塔がみん簡潔な作り方である。隅々まで行きとどいた安全系数の少い

コンパクトなドイツ流の設計が頭に浮かぶ。道路とその周辺のスマートな設計、山裾の整然たる刈上

等行政もかくありなんと思う。フランスに入つて始めて日本的な常

々たる送電線の鉄塔を見ることになる。田園風景の中にボッシュ、

ジーメンス、三菱、トヨタの名前が目に入る。田園風景の中にうまく収つてている。落ちついたよい設

計ができるだろうなどと思う。工場

がさばつて自然を圧倒している

という感じは全くない。高い所が草原。谷が深く落ち込んだ所が川。

牧場で羊かと見紛う小牛が群れている。もうミュンヘンに近い。今

朝ハイゼルベルクを出發してから何時間走つたことか。ミュンヘンの東北100kmはパリヤの森である。

ミュンヘンのホテルの名前がハンガーホテル、ホテル・ブダペスト

ー、クロアチア、セルビア北部、ルーマニア、ブルガリア国境ル

ーマニア、ウクライナを経て黒海にそそぐ。ビヤホールの大ホールで陽気な樂團とダンスの囲りで、

ナウ渡りやがて左(東)に針路をとりミュンヘンに向う。緑の草原を走る列車の架線、送電線の鉄塔がみん簡潔な作り方である。隅々まで行きとどいた安全系数の少い

コンパクトなドイツ流の設計が頭に浮かぶ。道路とその周辺のスマートな設計、山裾の整然たる刈上

等行政もかくありなんと思う。フランスに入つて始めて日本的な常

々たる送電線の鉄塔を見ることになる。田園風景の中にボッシュ、

ジーメンス、三菱、トヨタの名前が目に入る。田園風景の中にうまく収つてている。落ちついたよい設

計ができるだろうなどと思う。工場

がさばつて自然を圧倒している

という感じは全くない。高い所が草原。谷が深く落ち込んだ所が川。

牧場で羊かと見紛う小牛が群れている。もうミュンヘンに近い。今

朝ハイゼルベルクを出發してから何時間走つたことか。ミュンヘンの東北100kmはパリヤの森である。

ミュンヘンのホテルの名前がハンガーホテル、ホテル・ブダペスト

ー、クロアチア、セルビア北部、ルーマニア、ブルガリア国境ル

ーマニア、ウクライナを経て黒海にそそぐ。ビヤホールの大ホールで陽気な樂團とダンスの囲りで、

ナウ渡りやがて左(東)に針路をとりミュンヘンに向う。緑の草原を走る列車の架線、送電線の鉄塔がみん簡潔な作り方である。隅々まで行きとどいた安全系数の少い

コンパクトなドイツ流の設計が頭に浮かぶ。道路とその周辺のスマートな設計、山裾の整然たる刈上

等行政もかくありなんと思う。フランスに入つて始めて日本的な常

々たる送電線の鉄塔を見ることになる。田園風景の中にボッシュ、

ジーメンス、三菱、トヨタの名前が目に入る。田園風景の中にうまく収つてている。落ちついたよい設

計ができるだろうなどと思う。工場

がさばつて自然を圧倒している

という感じは全くない。高い所が草原。谷が深く落ち込んだ所が川。

牧場で羊かと見紛う小牛が群れている。もうミュンヘンに近い。今

朝ハイゼルベルクを出發してから何時間走つたことか。ミュンヘンの東北100kmはパリヤの森である。

ミュンヘンのホテルの名前がハンガーホテル、ホテル・ブダペスト

ー、クロアチア、セルビア北部、ルーマニア、ブルガリア国境ル

ーマニア、ウクライナを経て黒海にそそぐ。ビヤホールの大ホールで陽気な樂團とダンスの囲りで、

ナウ渡りやがて左(東)に針路をとりミュンヘンに向う。緑の草原を走る列車の架線、送電線の鉄塔がみん簡潔な作り方である。隅々まで行きとどいた安全系数の少い

コンパクトなドイツ流の設計が頭に浮かぶ。道路とその周辺のスマートな設計、山裾の整然たる刈上

等行政もかくありなんと思う。フランスに入つて始めて日本的な常

々たる送電線の鉄塔を見ることになる。田園風景の中にボッシュ、

ジーメンス、三菱、トヨタの名前が目に入る。田園風景の中にうまく収つてている。落ちついたよい設

計ができるだろうなどと思う。工場

がさばつて自然を圧倒している

という感じは全くない。高い所が草原。谷が深く落ち込んだ所が川。

牧場で羊かと見紛う小牛が群れている。もうミュンヘンに近い。今

朝ハイゼルベルクを出發してから何時間走つたことか。ミュンヘンの東北100kmはパリヤの森である。

ミュンヘンのホテルの名前がハンガーホテル、ホテル・ブダペスト

ー、クロアチア、セルビア北部、ルーマニア、ブルガリア国境ル

ーマニア、ウクライナを経て黒海にそそぐ。ビヤホールの大ホールで陽気な樂團とダンスの囲りで、

ナウ渡りやがて左(東)に針路をとりミュンヘンに向う。緑の草原を走る列車の架線、送電線の鉄塔がみん簡潔な作り方である。隅々まで行きとどいた安全系数の少い

コンパクトなドイツ流の設計が頭に浮かぶ。道路とその周辺のスマートな設計、山裾の整然たる刈上

等行政もかくありなんと思う。フランスに入つて始めて日本的な常

々たる送電線の鉄塔を見ることになる。田園風景の中にボッシュ、

ジーメンス、三菱、トヨタの名前が目に入る。田園風景の中にうまく収つてている。落ちついたよい設

計ができるだろうなどと思う。工場

がさばつて自然を圧倒している

という感じは全くない。高い所が草原。谷が深く落ち込んだ所が川。

牧場で羊かと見紛う小牛が群れている。もうミュンヘンに近い。今

朝ハイゼルベルクを出發してから何時間走つたことか。ミュンヘンの東北100kmはパリヤの森である。

ミュンヘンのホテルの名前がハンガーホテル、ホテル・ブダペスト

ー、クロアチア、セルビア北部、ルーマニア、ブルガリア国境ル

ーマニア、ウクライナを経て黒海にそそぐ。ビヤホールの大ホールで陽気な樂團とダンスの囲りで、

ナウ渡りやがて左(東)に針路をとりミュンヘンに向う。緑の草原を走る列車の架線、送電線の鉄塔がみん簡潔な作り方である。隅々まで行きとどいた安全系数の少い

コンパクトなドイツ流の設計が頭に浮かぶ。道路とその周辺のスマートな設計、山裾の整然たる刈上

等行政もかくありなんと思う。フランスに入つて始めて日本的な常

々たる送電線の鉄塔を見ることになる。田園風景の中にボッシュ、

ジーメンス、三菱、トヨタの名前が目に入る。田園風景の中にうまく収つてている。落ちついたよい設

計ができるだろうなどと思う。工場

がさばつて自然を圧倒している

という感じは全くない。高い所が草原。谷が深く落ち込んだ所が川。

牧場で羊かと見紛う小牛が群れている。もうミュンヘンに近い。今

朝ハイゼルベルクを出發してから何時間走つたことか。ミュンヘンの東北100kmはパリヤの森である。

ミュンヘンのホテルの名前がハンガーホテル、ホテル・ブダペスト

ー、クロアチア、セルビア北部、ルーマニア、ブルガリア国境ル

ーマニア、ウクライナを経て黒海にそそぐ。ビヤホールの大ホールで陽気な樂團とダンスの囲りで、

ナウ渡りやがて左(東)に針路をとりミュンヘンに向う。緑の草原を走る列車の架線、送電線の鉄塔がみん簡潔な作り方である。隅々まで行きとどいた安全系数の少い

コンパクトなドイツ流の設計が頭に浮かぶ。道路とその周辺のスマートな設計、山裾の整然たる刈上

等行政もかくありなんと思う。フランスに入つて始めて日本的な常

々たる送電線の鉄塔を見ることになる。田園風景の中にボッシュ、

ジーメンス、三菱、トヨタの名前が目に入る。田園風景の中にうまく収つてている。落ちついたよい設

計ができるだろうなどと思う。工場

がさばつて自然を圧倒している

という感じは全くない。高い所が草原。谷が深く落ち込んだ所が川。

牧場で羊かと見紛う小牛が群れている。もうミュンヘンに近い。今

朝ハイゼルベルクを出發してから何時間走つたことか。ミュンヘンの東北100kmはパリヤの森である。

ミュンヘンのホテルの名前がハンガーホテル、ホテル・ブダペスト

ー、クロアチア、セルビア北部、ルーマニア、ブルガリア国境ル

ーマニア、ウクライナを経て黒海にそそぐ。ビヤホールの大ホールで陽気な樂團とダンスの囲りで、

ナウ渡りやがて左(東)に針路をとりミュンヘンに向う。緑の草原を走る列車の架線、送電線の鉄塔がみん簡潔な作り方である。隅々まで行きとどいた安全系数の少い

コンパクトなドイツ流の設計が頭に浮かぶ。道路とその周辺のスマートな設計、山裾の整然たる刈上

等行政もかくありなんと思う。フランスに入つて始めて日本的な常

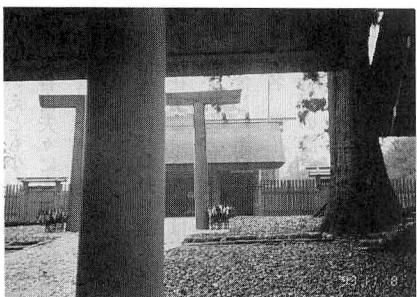
々たる送電線の鉄塔を見ることになる。田園風景の中にボッシュ、

ジーメンス、三菱、トヨタの名前が目に入る。田園風景の中にうまく収つてている。落ちついたよい設

計ができるだろうなどと思う。工場

がさばつて自然を圧倒している

という感じは全くない。高い所が草原。谷が深く落ち込んだ所が

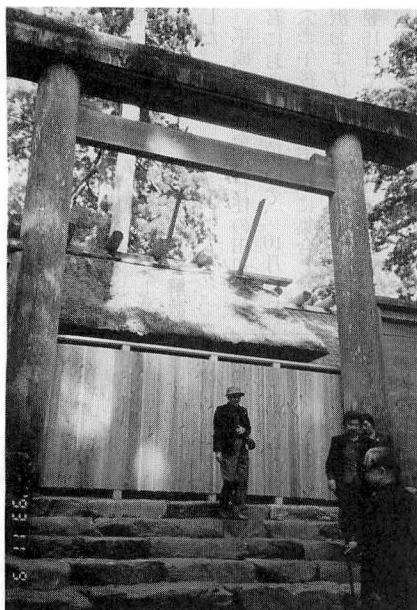


御玉垣内にて（内宮正殿）

風雪に耐えて苦むした古殿が鎮座しましまして。御正殿では御玉垣内に尊かれて参拝。新旧両殿を見ながらこれまでの20年、そしてこれらの20年に思いを馳せながら全員揃つて柏手を打つ。旧殿を見られるのは来年（6年3月31日）まで、4月から解体され、旧材は地方の神社や標札に拂い下げられ次の遷官の費用に充てられる。因みに今回の建家の費用は内宮のみで327億と聞く、すべて庶民の淨財で賄われたものである。

正宮を終えて別宮へ。大御神の御魂がお祀りされている「荒祭宮」「外幣殿」に詣うて宇治橋に戻り、滞りなく内宮、外宮のご参拝を終えた。

顧りみると、総桧、厚い茅葺き屋根の簡素にして美しい、千三百年の古代建築様式を伝える「唯一



(左：苦むした旧殿) 内宮御正殿前より (右：輝く新殿)



神明造りの御正殿は白砂利に映えてまばゆいばかりであり、秋の神苑も一際神々しい。20年振りの新しいご神徳を授かるうと善男善女の参拝の列が続く。神様も折角新しいお住居に遷られたのに寬ろがれる暇もないのではないか。第一日は時に小雨のぱらつく天候で、滯りなくご参拝を終えたのち内宮前のおはらい町に新しく出来た「おかげ横町」へ。ここは江戸明治時代の「おかげ参り」の賑わいを印象的であった。

あつたが、かえつて神路山、鳴路山に淡く雨雲のかかつた神域は莊嚴で神々しく、誠に絵に見る如く、滯りなくご参拝を終えたのち内宮前のおはらい町に新しく出来た「おかげ横町」へ。ここは江戸明治時代の「おかげ参り」の賑わいを印象的であった。

猿田彦神社の参拝を終えて宿舎へ。ホテルで総会、懇親会に入り、夫人共々四方山話をつき、夜の度の大イベントを考えられていた様である。

再現した町で、その昔おかげ参りと言われたお伊勢参りは一生一度の大イベントと考えられていた。第一日は伊勢志摩観光、快晴に恵まれ各自銘々に観光コースを選び、観光とグルメを満喫し帰路についた。

来年平成6年は卒業50周年の記念すべき年に当る。また京都は平安京都二百年の祝福すべき年を迎えるし、百年前の京都千年祭明治28記念に平安京の父桓武天皇を祀った平安神宮も「創建百周年」を迎える。この平安神宮の祭典「時代祭」と桂、修学院離宮の参觀を加えた三点セットで、京の地で記念大会を行なうこととした。

（平成5・12・10誌す）

私達、昭和48年卒業組は、昭和58年に熱海にて、卒業10周年の同期会を実施致しましたが、それ以来10ぶりに、卒業20周年の同期

会を平成5年11月13日（土）に懐しの京都にて実施致しました。

当日は、レンガ建ての旧電気系教室を新装した西館に集合し、冬

昭和48年卒（昭44入学） 電気工学第2学科同窓会記





木隆助教授のアレンジで懐かしの研究室の見学を行ったのち、五条近くの料亭のお座敷にて大宴会を催しました。本宴会には私達が卒業する年に教室主任をして頂いていた木村盤根教授にも御出席頂き、近畿地区在住者の他、遠く関東や中国方面から上洛した30数名が集まりました。

卒業後20年ということで、全員見事な中年となつておりましたが、

雰囲気は学生時代と変わらぬ若々しいものであつたと思つております。会のある、同じ旅館に宿泊した一部有志は、バラライカの演奏を聴きながらロシア美人のいるパ

ブで楽しい2次会を催したことをおわせて報告しておきます。

なお次回は5年後に再び東京周辺地区で会を催したいと考えております。お忙しい中、本同窓会にご出席頂きました木村盤根先生はじめ、研究室のご案内を頂きました。

現役学生の皆様に深く感謝いた

します。

(安田 豊記)

支部だより

東京支部ゴルフ会報告

幹事 舟田正男(昭24卒)

案内 参加人員に制限(40名)がありますので、昭和8年卒から50年卒までの洛友

開催数	第70回	第69回	第68回	第67回	第66回
日時	5.9.29	5.6.18	5.3.19	4.9.24	4.6.3
場所	小金井	小金井	小金井	小金井	小金井
参加者数	41人	31人	40人	34人	41人
優勝	佐藤(36)	池上(22)	北野(24)	前川(36)	高橋(28)
2位	神(23)	北村(35)	村井(22)	井上(34)	金田(21)
3位	立川(26)	北爪(15)	渡辺(32)	植田(18)	北野(24)
4位	北爪(15)	河原(23)	田崎(44)	村上(36)	浜口(42)
5位	古川(17)	北野(24)	井上(34)	田中(8)	古川(17)
7位	舟田(24)	-	立川(26)	-	土方(17)
10位	岸本(33)	神(23)	土方(17)	甲斐(16)	藤原(21)
15位	田中(8)	田中(8)	太田(17)	土方(17)	舟田(24)
20位	土方(17)	金田(21)	山村(15)	北爪(15)	太田(17)
25位	太田(17)	山村(15)	北爪(15)	河野(9)	田中(8)
30位	添田(30)	-	高木(10)	渡辺(32)	高木(10)
35位	村井(22)	-	河野(9)	-	黒田(15)
B.B賞	山村(15)	河野(9)	青木(27)	塩沢(10)	河野(9)
当日賞	北野(24)	鶴海(28)	田中(8)	金田(21)	北爪(15)
敢斗賞	-	-	石黒(40)	-	玉井(16)
特別賞	小田(18)	筑木(14)	都木(23)	-	-

会員で支部行事のゴルフ会参加希望者約120名の方に案内しています。ただし40名に達しないこともありますので卒業年次にこだわりません。

コース回です。名門小金井カントリークラブでの開催を原則としています。10組40名のコンペです。参加者が少なくて緊急呼びかけをすることがあります。

表彰別・ドーナツ・ニアピン・参加賞、多数用意しています。

ハンディ初回は申告で決めています。

ですが、その後は入賞やす

ます。

洛友会支部からの補助金と当日の参加費五千円で

通信費・賞品代・懇親会費などの必要経費を賄っています。

金井CCで10組で開催、連絡先舟田045-891-1171

次回最近5回の成績は次の通りです。

コア実績等によって修正を行っています。平均

ストロークは105前後です。

平成6年6月10日(金)小

金井CCで10組で開催、連絡先舟田045-891-1171

★ご案内の範囲は洛友会会員で先に調査しました洛友会東京支部行事参加者名簿によりご案内しますが、他に参加ご希望の方があればお誘いください。



関西支部行事予定

お詫びと訂正

京阪京都(正)に訂正方。

頁(10)一段目(写真説明に池上先生
(誤)→池上(正)に訂正方。

一、洛友会会報(第166号)1月号

第61回ゴルフ競技会

期日 5月8日(日)10組
場所 武庫之台ゴルフ場
会費 2万3千円(当日)
連絡先 幹事閑電大久保まで
TEL 06-441-8821

頁(2)一段目右から3行目第二次石油不足(誤)→不況(正)に訂正方。
(株)迎春広告新電機株式会社代表取締役会長(誤)→社長(正)に、
(株)S.C.C.代表取締役社長(誤)→
会長(正)に訂正方。

頁(6)四段目中央関西支部総会の会場がホテル京都京阪(誤)→ホテル

二、洛友会員名簿
(平成六年・七年用)

二、洛友会員名簿
(平成六年・七年用)

案内通り、ぜひ出席方お願い致し

ます。

本4月号の巻頭言は東京支部長、
鉄道情報システム株代表取締役社
長の武藤良介(昭28年卒)にお願
い致しました。武藤様は元国鉄時
代の新幹線安全走行の苦労話を書
いていただきました。ご多忙とのと
ころ有難うございました。次回
7月号は池上文夫副会長にお願い
しております。

「北野をどり」「鴨川をどり」と続
き京都から不況風を吹き飛ばす明
るいスタートです。京都大学では3月24日(木)卒業
式がありました。工学部電気系で
は修士86名、学部131名が卒業され
ました。心からお祝い申し上げま
す。それでは進学、就職が決まり、
4月から社会へ船出されたが、多
くの企業にとって春はまだ遠いよ
うで、不況、リストラ、人員削減
が続くなか負けないで頑張ってく
ださい。

今年の3月は例年に比べ冬型の
気圧配置の日が多く全国的に冷え
込み、雪を降らせた寒波が春を遅
らせたが、4月に入ると急に春め
き「桜前線上陸一番の町」この春
上陸第一号となつたのは高知県宿
毛市、桜の開花宣言は毎年長崎と
さだが、南国はもう初夏の暖かさ、
春本番の好季節となりました。
古都京都では春を告げる「都を
どり」が始まりました。今年は平
安建都一二〇〇年にちなんだ演目は
京の歴史を振り返る「千載繁榮平
安」が計画されています。それぞれご

ご協力の程よろしくお願い申し上
げます。

平成6年度も洛友会にご支援、
ご協力の程よろしくお願い申し上
げます。

(事務局長矢木原邦雄記)

卒業年次別

会費納入状況について



会員の皆さんのご協力で平成5
年度の会計業務も完了しました。
会費納入対象者数(A)五六九一名
(平成5年卒まで)で、納入者総数
(B)三二三七名で納入率(B)/(A)は五
五・一%。平成4年度(前年度)に
比較して若干下がり低調です。支
部活動費にも影響しますので今年
も会費納入方何卒よろしくお願ひ
申し上げます。(本部事務局)

編集後記

今年の3月は例年に比べ冬型の
気圧配置の日が多く全国的に冷え
込み、雪を降らせた寒波が春を遅
らせたが、4月に入ると急に春め
き「桜前線上陸一番の町」この春
上陸第一号となつたのは高知県宿
毛市、桜の開花宣言は毎年長崎と
さだが、南国はもう初夏の暖かさ、
春本番の好季節となりました。
古都京都では春を告げる「都を
どり」が始まりました。今年は平
安建都一二〇〇年にちなんだ演目は
京の歴史を振り返る「千載繁榮平
安」が計画されています。それぞれご

今年の洛友会本部総会は5月29
日(日)ホテル京阪京都で関西支部
と合同で開催します。(詳細は前
記参照)会員の皆様、関西支部
会員だけでなく、全国からぜひ出
来で、不況、リストラ、人員削減
が続くなか負けないで頑張ってく
ださい。

今年の洛友会本部総会は5月29
日(日)ホテル京阪京都で関西支部
と合同で開催します。(詳細は前
記参照)会員の皆様、関西支部
会員だけではなく、全国からぜひ出
来ます。各地区の支部総会は、
5月27日(金)中国支部総会
6月3日(金)九州支部総会
6月4日(土)東京支部総会
6月10日(金)四国支部総会
6月11日(土)中部支部総会

報

講

講大	14	野々口	守	5	10	13
講昭	3	安井利一				
昭7	山下	實	5	12		
昭14	打田正一	6	2			
昭19	藤永敦	5	12			
昭21	梅村弘次	5	4			
昭23	白石純一	6	1			
		9	5			

以上の方々がご逝去なさ
いました。謹んで哀悼の意
を表します。